

Windows (10・11 共通) のバックアップ機能



コントロールパネルを表示する方法： タスクバーの検索欄に「コントロールパネル」と入力すると表示される。

表示方法はカテゴリー表示にする。

1. ファイル履歴でファイルのバックアップコピーを保存・・・アドレス帳、お気に入り、およびデスクトップに保存されているファイルなどを、自動でバックアップできる機能。定期的にフォルダーがスキャンされ、ファイルの変更を検知した際にバックアップされます。システムは対象外。ファイルのバージョン履歴（上書きなど）もバックアップしてくれる。
2. バックアップと復元 (Windows 7)
 - (ア) バックアップの設定・・・書類などのデータの他に、システムイメージもバックアップ対象。スケジュール管理も可能。
 - (イ) システムイメージの作成・・・PC の丸ごとバックアップをしてくれる。復元はバックアップした PC のみ。

前ページの「バックアップと復元 (Windows7)」をクリックすると、下図に進む。

- (ア) システムイメージの作成
- (イ) バックアップの設定



PC を購入直後の工場出荷状態に戻すツールに、「リカバリーメディア」(PC メーカーによる) と Windows の「回復ドライブ」がありますが、Windows のセットアップなど最初の設定からやり直す必要があるので面倒です。

Windows のセットアップや Wi-Fi その他設定を終わり、PC を使える状態にした後で「システムイメージの作成」で PC 丸ごとバックアップをする方が便利だと思います。PC 丸ごととは文書ファイルなどのデータ及び自分で追加したアプリなども含まれますので、半年または 1 年に 1 度「システムイメージの作成」でバックアップをしておくで安心です。

(二重三重の安全のため、リカバリーメディア、回復ドライブもあった方が良いでしょう)